

# 秋田県健康づくり審議会 感染症対策分科会 肝疾患対策部会

日 時 令和8年1月30日（金）  
午後6時から8時まで  
場 所 Web開催（Google meet）  
県庁舎7階 73会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 報 告

- |                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 1) 第3期秋田県肝炎対策推進計画の進捗について          | 資料1 |
| 2) 肝炎ウイルス検査について                   | 資料2 |
| 3) 初回精密検査・定期検査について                | 資料3 |
| 4) 肝炎ウイルス検査結果記録カードについて            | 資料4 |
| 5) 肝炎治療費助成制度について                  | 資料5 |
| 6) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について          | 資料6 |
| 7) 秋田県専用B型・C型肝炎ウイルス陽性者診療情報提供書について | 資料7 |
| 8) 肝炎医療コーディネーターについて               | 資料8 |

### 4 その他

### 5 閉 会

秋田県健康づくり審議会 感染症対策分科会 肝疾患対策部会委員 出席者名簿

	所属名	役職名	氏名	備考
1	秋田県肝臓友の会	幹事	石川 長生	Web
2	大仙市健康福祉部健康増進センター	副主幹	石田 素子	Web
3	秋田市保健所	所長	伊藤 善信	欠席
4	くらみつ内科クリニック	院長	倉光 智之	Web
5	本荘第一病院	副院長	後藤 隆	会場
6	中島内科医院	院長	中島 康	Web
7	市立秋田総合病院	嘱託	中根 邦夫	会場
8	能代厚生医療センター	副院長	藤島 裕耕	欠席
9	大曲厚生医療センター	消化器科長	藤原 純一	欠席
10	市立横手病院	副院長	船岡 正人	Web
11	秋田厚生医療センター	副院長	星野 孝男	Web
12	秋田県医師会	常任理事	武藤 理	欠席
13	大館市立総合病院	消化器・血液・腫瘍 内科部長	山居 聖典	Web
14	わたなべ内科医院	院長	渡辺 大亮	欠席

事務局

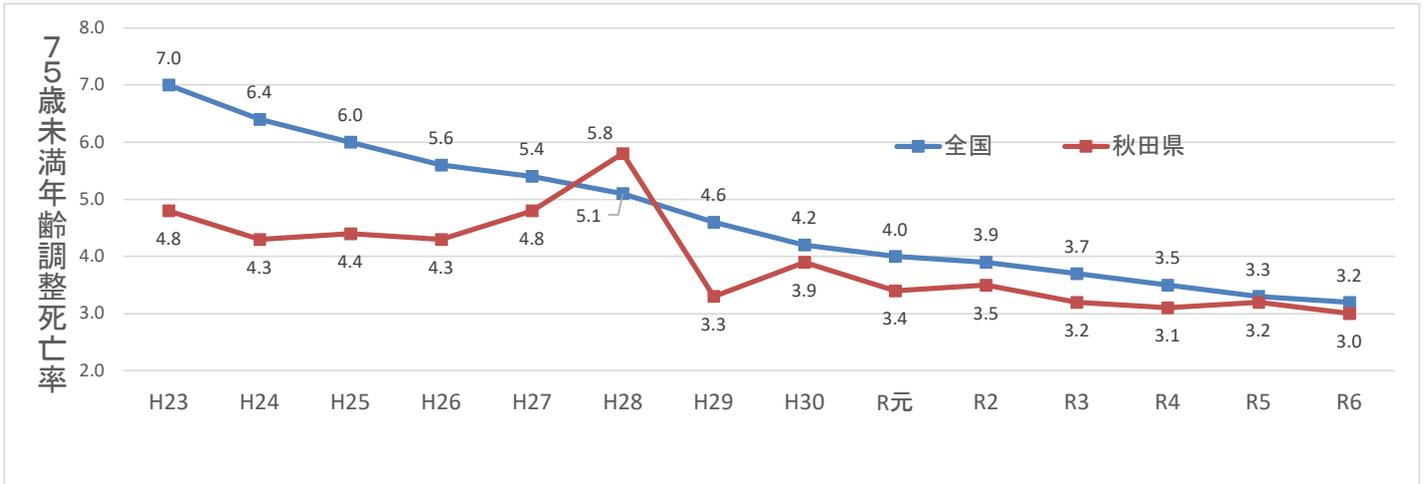
1	秋田県健康福祉部	保健・疾病対策課	課長	清野 穰	
2			政策監	佐藤 直子	
3			チームリーダー	大高 邦博	
4			副主幹(兼) サブリーダー	門脇 英樹	
5			専門員	武藤 順洋	
6			主事	伊藤 大河	
7			主事	小川 匡	

## 第3期秋田県肝炎対策推進計画の進捗

## ◎ 計画にて定める数値目標等

(1) 目指すべき方向: ウイルス性肝炎患者から肝硬変・肝がんへ移行する者を減少させる。

項目	区分	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	出典
肝がん(肝及び肝内胆管の悪性新生物)の75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	全国	5.4	5.1	4.6	4.2	4	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2	国立がん 研究センター
	秋田県	4.8	5.8	3.3	3.9	3.4	3.5	3.2	3.1	3.2	3.0	



## (2) その他の個別指標

	項目	計画策定時の基準値	現状値
①	保健所、委託医療機関、市町村が実施するB型肝炎ウイルス検査及びC型肝炎ウイルス検査の受検者総数を、令和9年度までに <b>70,000人</b> とする。	約51,000人 (平成20年度～令和2年度)	H29 B型:4,875人 C型:4,102人 H30 B型:3,903人 C型:3,910人 R元 B型:2,487人 C型:2,486人 R2 B型:1,445人 C型:1,443人 R3 B型:2,952人 C型:2,949人 R4 B型:2,596人 C型:2,582人 R5 B型:2,355人 C型:2,351人 R6 B型:2,565人 C型:2,561人 (令和6年度末時点)約62,500人
②	保健所検査、委託医療機関検査及び市町村検診の陽性者のうち、「初回精密検査」の助成制度利用者の割合を <b>50%</b> とする。	34% (平成30年度～令和2年度平均)	H29 制度利用者 5人 / 陽性者 45人 11% H30 制度利用者 11人 / 陽性者 39人 28% R元 制度利用者 11人 / 陽性者 20人 55% R2 制度利用者 1人 / 陽性者 8人 13% R3 制度利用者 10人 / 陽性者 20人 50% R4 制度利用者 4人 / 陽性者 19人 21% R5 制度利用者 7人 / 陽性者 17人 41% R6 制度利用者 8人 / 陽性者 23人 35%
③	「定期検査」の助成制度利用件数を、年 <b>100件</b> とする。	69件 (平成30年度～令和2年度平均)	H29 43件 R3 57件 H30 61件 R4 54件 R元 74件 R5 64件 R2 73件 R6 62件
④	肝炎医療コーディネーターを <b>500人</b> 養成するとともに、 <b>全市町村</b> へ配置する。	330人 19市町村 (令和3年度末)	437人 22市町村 (令和6年度末)

# 第3期秋田県肝炎対策推進計画の概要について

保健・疾病対策課

## 【計画の趣旨】

肝がんの多くは肝炎ウイルス感染に起因するが、感染しても自覚症状がないため、重症化する前に適切な治療を行うことが必要である。そのため、本県の実情に応じた肝炎対策を計画的かつ効果的に推進するため本計画を策定する。

## 【計画の位置付け】

「肝炎対策基本法」及び「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」の趣旨を踏まえた県計画

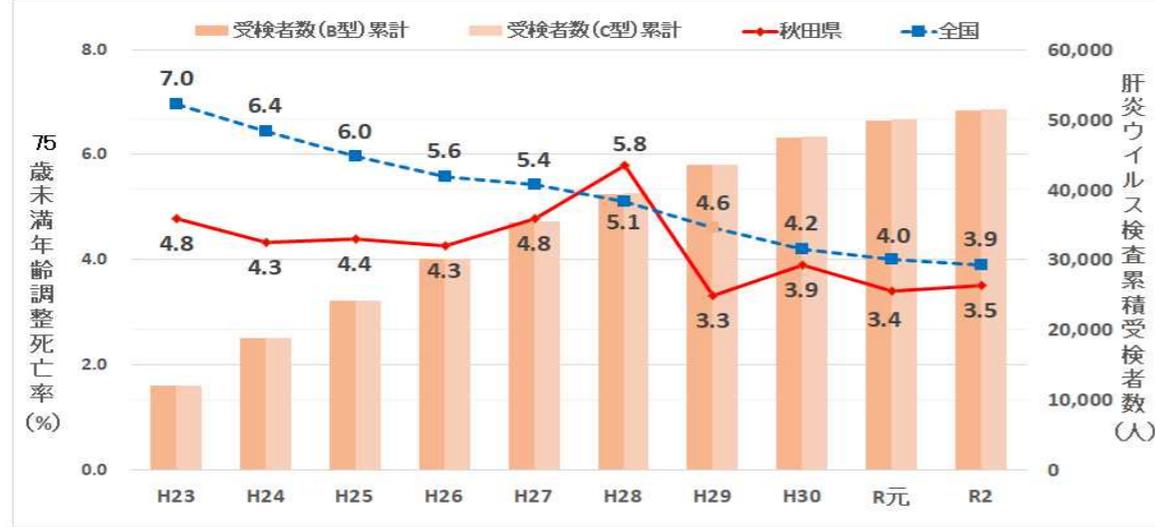
## 【計画期間】

令和5年度～令和9年度

## 本県の現状・課題とこれまでの取組

### 【現状】

・本県の肝がんの死亡率は減少傾向にあるが、ここ数年は横ばい傾向



※75歳未満年齢調整死亡率…高齢化の影響を除去した評価指標(人口10万人対)

### 【課題】

肝がんの死亡率をさらに減少させるためには、肝炎ウイルス感染者を早期に発見し、適切な治療等につなげる必要がある。近年、肝炎ウイルス検査の受検者数が伸び悩んでいることから対策を講じる必要がある。

### 【主な取組】

- ① 肝炎ウイルス検査事業
  - ・保健所、委託医療機関等における肝炎ウイルス検査費用の助成
- ② 初回精密検査、定期検査費用助成事業
  - ＜初回精密検査＞
  - ・陽性判定者精密検査費用の助成
  - ＜定期検査＞
  - ・治療終了後等における検査等費用の一部を年度2回助成
- ③ 肝炎治療に対する医療費助成(肝炎治療特別促進事業)
- ④ 肝がん・重度肝硬変に対する医療費助成(肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業)
- ⑤ 肝炎患者等に対する相談支援事業
  - ・拠点病院(秋田大学医学部附属病院・市立秋田総合病院)肝疾患相談・支援センター
- ⑥ 肝炎医療コーディネーター養成事業
  - ・肝炎治療等に関する知識を習得し、受検勧奨、陽性判定者へ受診勧奨を行う保健師、薬剤師等の養成
- ⑦ 感染の予防や正しい知識の普及啓発事業
  - ・日本肝炎デー(7月28日)等に関する集中的な普及・啓発

## 目指すべき方向と指標

### 目指すべき方向性

ウイルス性肝炎の患者から肝硬変・肝がんへ移行する者を減少させる。

### 指標

- スクリーニング検査の受検者数の増加  
保健所、委託医療機関、市町村が実施する肝炎ウイルス検査受検者総数

現状	目標
約51,000人(H20～R2)	70,000人(R9)

- スクリーニング検査陽性判定者のうち、初回精密検査の助成制度利用率の増加

現状	目標
34%(H30～R2)	50%(R9)

- 定期検査の助成制度利用件数の増加

現状	目標
69件(H30～R2)	年100件(R9)

- 肝炎医療コーディネーターの活動拡充

	現状	目標
人数	330人(R3)	500人(R9)
配置 <sup>2</sup>	19市町村(R3)	全市町村(R9)

## 具体的な取組

- ◇肝炎ウイルス検査の受検勧奨と陽性者フォローアップ推進

- ・肝炎ウイルス検査体制の整備  
スクリーニング検査の推進のほか、医療関係者に対する助成制度の周知による初回精密検査及び定期検査を実施する委託医療機関の拡充
- ・陽性者フォローアップ  
陽性判定者が適切な治療を受けられるよう検査後のフォローアップを推進

- ◇適切な肝炎治療の推進

- ・肝疾患診療ネットワークの強化  
県専用診療情報提供書の活用により、陽性判定者を専門医療機関等へ紹介

- ◇患者への支援

- ・肝炎治療特別促進事業及び肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の継続、各助成制度の周知徹底

- ◇肝炎医療コーディネーターの活動支援

- ・活動状況の把握と情報提供、スキルアップ研修等の開催

- ◇肝炎に関する正しい知識の普及啓発

- ・母子保健指導を通じた啓発  
B型肝炎ワクチンの定期接種が必要であることを、市町村等の母子保健指導を通じて啓発
- ・職域への啓発  
心身等への負担がより少ない治療が可能となったことを踏まえ、働きながら継続的に治療を受けることができるよう、事業主等へ啓発

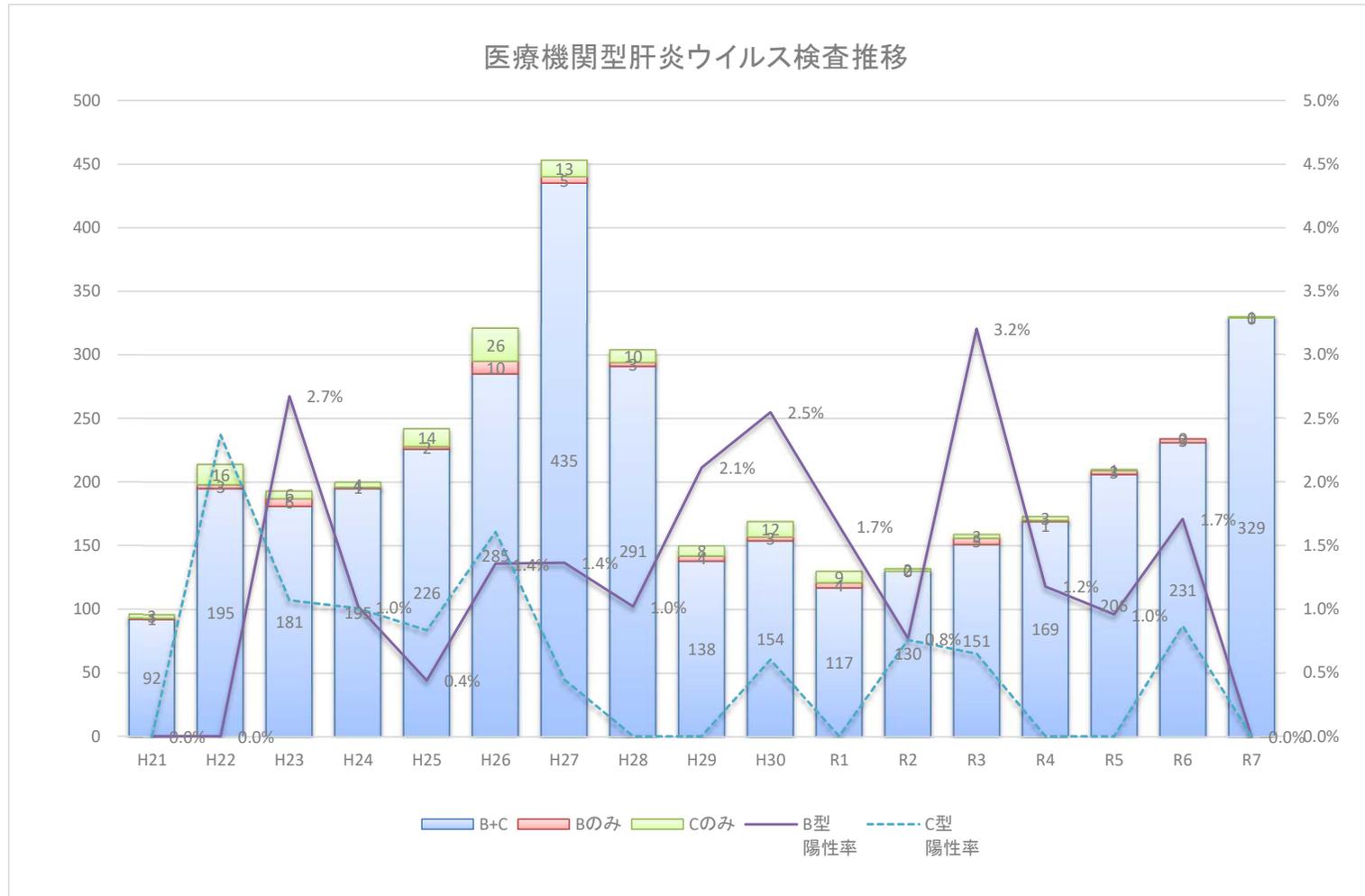
秋田県医療機関型肝炎ウイルス検査実績【累積】

資料2

※R7は11.30現在

	受 検 者 数					判 定 結 果								
	B型	C型	(内訳)			B型		C型						
			B型 + C型	B型のみ	C型のみ	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤	再掲①+② 感染可能性高	再掲③+④+⑤ 感染可能性低
H21	93	95	92	1	3	0	93	0	0	0	1	94	0	95
H22	198	211	195	3	16	0	198	5	0	0	4	202	5	206
H23	187	187	181	6	6	5	182	2	0	0	3	182	2	185
H24	196	199	195	1	4	2	194	1	1	1	3	193	2	197
H25	228	240	226	2	14	1	227	2	0	0	3	235	2	238
H26	295	311	285	10	26	4	291	4	1	6	82	218	5	306
H27	440	448	435	5	13	6	434	2	0	2	225	219	2	446
H28	294	301	291	3	10	3	291	0	0	1	53	247	0	301
H29	142	146	138	4	8	3	139	0	0	0	19	127	0	146
H30	157	166	154	3	12	4	153	1	0	0	31	134	1	165
R1	121	126	117	4	9	2	119	0	0	0	20	106	0	126
R2	130	132	130	0	2	1	129	1	0	0	16	115	1	131
R3	156	154	151	5	3	5	151	1	0	0	20	133	1	153
R4	170	172	169	1	3	2	168	0	0	1	25	146	0	172
R5	209	207	206	3	1	2	207	0	0	0	23	184	0	207
R6	234	231	231	3	0	4	230	2	0	0	43	186	2	229
※R7	329	330	329	0	1	0	329	0	0	1	222	107	0	330
計	3,579	3,656	3,525	54	131	44	3,535	21	2	12	793	2,828	23	3,633

実受検者数 3,710



〔 秋田県医療機関型無料肝炎ウイルス検査の運営について 〕

○本検査の予算については、令和6年度の執行率が66%であるなど余裕を持って措置し、予算を気にすることなく実施する体制を整えていた。

しかし、令和7年度は検査実績が急伸し、4～9月実施分支払い時点で執行率が77%と不足が見込まれたため、12月議会において予算の増額補正を行った。

県財政の状況から、令和8年度の当初予算における増額は厳しく、予算不足が見込まれる場合は、補正予算による措置を目指すものの、実施件数の更なる伸びや国の予算措置との兼ね合いなどにより、不可能になる場合も想定される。その場合は、不本意ながら、年度の途中で委託医療機関における無料検査受付を中止することになる。

医療機関型肝炎ウイルス検査実施内訳

(1)市町村別

市町村名	R6	R7※	合計
鹿角市	5	4	9
小坂町		1	1
大館市	8	36	44
北秋田市	65	191	256
上小阿仁村	1	6	7
能代市	61	35	96
藤里町	4	4	8
三種町	8	5	13
八峰町	6	1	7
男鹿市	10	7	17
潟上市	7	5	12
八郎潟町			
五城目町			
井川町	1		1
大潟村		1	1
由利本荘市	6	1	7
にかほ市			
大仙市	27	11	38
仙北市	16	18	34
美郷町	1	1	2
横手市	5	2	7
湯沢市	3	1	4
羽後町			
東成瀬村			
県実施分	234	330	564
秋田市	119	57	176

合計 353 387 740

(2)①県実施分(医療機関別)

医療機関名称	所在地	R6	R7※	合計
なかの消化器内科クリニック	鹿角市	5	4	9
いけがみレディースクリニック	鹿角市			
小坂町診療所	小坂町		1	1
大館市立扇田病院	大館市	1		1
大館記念病院	大館市	1	1	2
あじみね内科医院	北秋田市		174	174
うえだクリニック	北秋田市	70	40	110
米内沢診療所	北秋田市		19	19
能代厚生医療センター	能代市	1	1	2
わたなべ内科医院	能代市	26	12	38
瀬川医院	能代市	56	32	88
長沼医院	男鹿市	13	10	23
脇本クリニック	男鹿市		1	1
せきクリニック	潟上市	1	2	3
秋田厚生医療センター	秋田市	1		1
土崎駅前内科	秋田市	1		1
本荘第一病院	由利本荘市	5		5
佐藤病院	由利本荘市	1		1
池田医院	大仙市	1		1
佐藤内科クリニック	大仙市	8	5	13
中島内科医院	大仙市	14	8	22
太田診療所	大仙市	1		1
おおさわ胃腸科内科クリニック	仙北市	17	11	28
下新町クリニック	仙北市	4	6	10
市立横手病院	横手市	2		2
沢口内科医院	横手市	1		1
八木橋医院	横手市	1	2	3
横手胃腸科クリニック	横手市	1		1
雄勝中央病院	湯沢市		1	1
石岡胃腸科内科クリニック	湯沢市	2		2

計

234 330 564

②秋田市実施分(医療機関別)

医療機関名称	所在地	R6	R7※	合計
アーク循環器クリニック	秋田市	4	2	6
あきた東内科クリニック	秋田市	1		1
あきた駅前内科外科クリニック	秋田市			
秋田厚生医療センター	秋田市	1		1
あきた内科・呼吸器内科クリニック	秋田市		1	1
秋田泌尿器科クリニック	秋田市	2		2
阿部クリニック	秋田市		2	2
飯島透析クリニック	秋田市		1	1
飯島ファミリークリニック	秋田市			
石田内科医院	秋田市	2		2
いちかわ内科クリニック	秋田市	1	3	4
一戸医院	秋田市	2		2
いなば内科胃腸科クリニック	秋田市	4	2	6
岩淵内科胃腸科クリニック	秋田市	1		1
及川医院	秋田市	4	5	9
小川内科医院	秋田市	1		1
おきた町診療所	秋田市	2	1	3
おのば腎泌尿器科クリニック	秋田市	1	1	2
御野場病院	秋田市	3		3
加賀谷記念小松こども医院	秋田市			
かがや内科医院	秋田市	3		3
鹿嶋医院	秋田市	2	2	4
片岡内科医院	秋田市	4	1	5
川上医院	秋田市	1	1	2
木曾医院	秋田市			
木村内科クリニック	秋田市	1		1
共立クリニック	秋田市	1		1
工藤胃腸科内科クリニック	秋田市	2		2
熊谷内科医院	秋田市	1		1
くらみつ内科クリニック	秋田市	1		1
桑原内科クリニック	秋田市	3		3
小泉病院	秋田市	1		1

医療機関名称	所在地	R6	R7※	合計
御所野ひかりクリニック	秋田市		2	2
小林胃腸科内科	秋田市		2	2
小松内科クリニック	秋田市			
ささはら内科医院	秋田市	2		2
澤口医院	秋田市	1	1	2
山王胃腸科	秋田市		1	1
城南さいとうクリニック	秋田市	2	1	3
白根医院	秋田市	1		1
市立秋田総合病院	秋田市	1	1	2
すずきクリニック	秋田市			
鈴木内科胃腸科医院	秋田市		2	2
銭谷内科胃腸科クリニック	秋田市	2	1	3
高木内科胃腸科医院	秋田市	1		1
高橋内科医院	秋田市	1	1	2
高橋正喜クリニック	秋田市	2		2
武田胃腸クリニック	秋田市			
田近医院	秋田市	2	1	3
土崎駅前内科	秋田市	4	2	6
土崎病院	秋田市	3		3
土崎レディースクリニック	秋田市	1	1	2
つつみ整形外科	秋田市			
遠山医院	秋田市	2		2
富田胃腸科内科医院	秋田市	4	2	6
中通総合病院	秋田市	3		3
ながめま内科	秋田市	3		3
仁井田ゆいクリニック	秋田市			
新田医院	秋田市	2		2
はたの循環器クリニック	秋田市	1	4	5
濱島医院	秋田市	2		2
ひかり桜ヶアクリニック	秋田市	1		1
ひもり内科消化器科クリニック	秋田市			
平野いたみのクリニック	秋田市		1	1

※7年度はR7.11.30現在

医療機関名称	所在地	R6	R7※	合計
広面ファミリークリニック	秋田市			
福島内科医院	秋田市			
藤盛レディースクリニック	秋田市	7	1	8
本間医院	秋田市	2	2	4
松岡内科クリニック	秋田市	1		1
水沢医院	秋田市	1	1	2
ミチヒロ胃腸内科クリニック	秋田市	6	1	7
森川内科・呼吸器科クリニック	秋田市	2		2
やばせ内科クリニック	秋田市			
雄和もてぎクリニック	秋田市	1		1
吉田胃腸科内科クリニック	秋田市			
米山消化器内科クリニック	秋田市	9	7	16

計 119 57 176

秋田県出張型肝炎ウイルス検査事業 概要・実績【累積】

●県と総合保健事業団が委託契約を締結し、イベントや検診会場において検査を実施

R7.12.31現在

年度	実施主体	実施日時	イベント名称	受検者数			判定結果				受検者数計		
				(内訳)			B型		C型				
				B型+C型	B型のみ	C型のみ	陽性	陰性	①+② 感染可能性高	③+④+⑤ 感染可能性低			
H25	八峰町	H25.11.2~3	八峰町文化祭	55	0	0	0	55	0	55	55		
H26	鹿角市	H26.9.21	かづの元気フェスタ	45	0	0	0	45	0	45	206		
	八峰町	H26.10.12	んめものまつり	111	0	0	1	110	0	111			
H27	男鹿市	H26.11.13	男鹿市民健康フェスタ	50	0	0	0	50	0	50	138		
	湯沢市	H27.9.6	湯沢市ライフイベント サポートフェスタ	13	0	0	0	13	0	13			
	八峰町	H27.11.1	八峰町文化祭	80	0	0	0	80	0	80			
	男鹿市	H27.11.18	男鹿市民健康フェスタ	24	0	0	1	23	0	24			
H28	横手市	H28.3.5	第70回市民医学講座	21	0	0	0	21	0	21	63		
	上小阿仁村	H28.10.10	心の健康づくりイベント	14	0	0	0	14	0	14			
	羽後町	H28.10.22	羽後町健康祭	16	0	0	0	16	0	16			
H29	八峰町	H28.11.5	八峰町文化祭	33	0	0	0	33	0	33	35		
	羽後町	H29.11.25	羽後町健康祭	35	0	0	0	35	0	35			
	H30	県	H30.7.28	日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座	27	0	0	0	27	0		27	99
		美郷町	H30.9.9	早朝総合追加検診	8	0	0	0	8	0		8	
大仙市	H30.10.20	秋のみのりフェア	49	0	0	0	49	0	49				
羽後町	H30.10.27	羽後町健康祭	15	0	0	0	15	0	15				
R1	県	2019.7.27	日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座	26	0	0	2	24	0	26	123		
	潟上市	2019.7.25	健診結果説明会	14	0	0	0	14	0	14			
	美郷町	2019.9.8	追加早朝総合健診	10	0	0	0	10	0	10			
	潟上市	2019.9.10	健診結果説明会	8	0	0	0	8	0	8			
	潟上市	2019.9.19	健診結果説明会	14	0	0	0	14	0	14			
	大仙市	2019.10.19	秋のみのりフェア	27	0	0	0	27	0	27			
R2	羽後町	2019.10.26	羽後町健康祭	24	0	0	1	23	0	24	-		
R3	※新型コロナウイルス感染症の影響で、市町村のイベント等が中止となったため実施できず。			-	-	-	-	-	-	-	-		
R4	※新型コロナウイルス感染症の影響で、市町村のイベント等が中止となったため実施できず。			-	-	-	-	-	-	-	-		
R5	県	2023.7.22	日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座	12	0	0	0	12	0	12	12		
R6	県	2024.9.28	日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座	15	0	0	0	15	0	15	15		
R7	※日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座は隔年開催となった。			-	-	-	-	-	-	-	-		
計				6	746	0	0	5	741	0	746		

## 令和5年度 健康増進事業における肝炎ウイルス検査実績

	40歳検診					41歳～			
	B型		C型		受診率 (%)	B型		C型	
	検査数	陽性者数	検査数	陽性者数		検査数	陽性者数	検査数	陽性者数
秋田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
能代市	9	-	9	-	1.9	188	2	188	-
横手市	82	-	82	-	9.2	-	-	-	-
大館市	69	-	69	-	9.7	123	-	123	-
男鹿市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯沢市	85	-	85	-	20.4	6	1	6	-
鹿角市	33	-	33	-	11.8	23	-	23	-
由利本荘市	-	-	-	-	-	159	-	159	-
潟上市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大仙市	75	-	75	-	9.8	533	5	533	-
北秋田市	16	-	16	-	5.9	-	-	-	-
にかほ市	27	-	27	-	11.1	-	-	-	-
仙北市	5	-	5	-	2.3	62	-	62	-
小坂町	-	-	-	-	-	27	-	27	-
上小阿仁村	2	-	2	-	15.4	7	-	7	-
藤里町	1	-	1	-	5.6	16	-	16	-
三種町	9	1	9	-	8.4	58	-	58	-
八峰町	7	-	7	-	13.5	9	-	9	-
五城目町	1	-	1	-	1.4	24	1	24	-
八郎潟町	4	-	4	-	6.8	42	1	42	-
大潟村	3	-	3	-	9.4	-	-	-	-
井川町	6	-	6	-	21.4	14	-	14	-
美郷町	38	-	38	-	21.2	113	1	113	-
羽後町	21	-	21	-	13	3	-	3	-
東成瀬村	5	-	5	-	21.7	1	-	1	-
秋田県	498	1	498	0	8.5	1,408	11	1,408	0

## 初回精密検査・定期検査について

○近年の秋田県肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業実施要領の改正等について

年度	改正日	概要								
H28	H28.6.1	<p>【定期検査】 所得制限緩和による助成制限の緩和 これまで 住民税非課税世帯：自己負担額無料 ⇒ 次の区分を追加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">自己負担限度額（1回につき）</th> </tr> <tr> <th>慢性肝炎</th> <th>肝硬変 肝がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者</td> <td>3,000円</td> <td>6,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	自己負担限度額（1回につき）		慢性肝炎	肝硬変 肝がん	市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者	3,000円	6,000円
区分	自己負担限度額（1回につき）									
	慢性肝炎	肝硬変 肝がん								
市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者	3,000円	6,000円								
H29	H29.6.6	<p>【定期検査】 自己負担限度額の引き下げ 市町村民税（所得割）課税年額が235,000円未満の世帯に属する者の自己負担限度額を次の額に変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">自己負担限度額（1回につき）</th> </tr> <tr> <th>慢性肝炎</th> <th>肝硬変 肝がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者</td> <td>2,000円</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	自己負担限度額（1回につき）		慢性肝炎	肝硬変 肝がん	市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者	2,000円	3,000円
区分	自己負担限度額（1回につき）									
	慢性肝炎	肝硬変 肝がん								
市町村民税（所得割）課税年額が 235,000円未満の世帯に属する者	2,000円	3,000円								
H31 (R1)	R1.5.30	<p>【初回精密検査】 助成対象者の拡大 これまでの対象者：秋田県内に住所を有する医療保険各法（後期高齢者含む）の規定による被保険者又は被扶養者で、陽性者フォローアップに同意した次の者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県・秋田市の委託医療機関での肝炎ウイルス検査</li> <li>・ 県内保健所が実施した肝炎ウイルス検査</li> <li>・ 市町村が実施した健康増進事業の肝炎ウイルス検診</li> </ul> <p>⇒ 次の者を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職域の肝炎ウイルス検査を受け陽性と判定された者</li> </ul> <p style="text-align: right;">} いずれかで 陽性と判定 された者</p>								
R2	R2.6.3	<p>【初回精密検査】 助成対象者の拡大 これまでの対象者に、新たに次の者を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妊婦健診の肝炎ウイルス検査における陽性者</li> <li>・ 手術前の肝炎ウイルス検査における陽性者</li> </ul>								
R6	R6.12.2	<p>【初回精密検査・定期検査】 申請時必要書類の変更 マイナ保険証の導入により、加入医療保険を確認する書類を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格情報のお知らせ、資格確認書（R7.12までは健康保険証可）</li> <li>・ マイナポータルによる資格情報PDF画面</li> </ul>								

# 初回精密検査・定期検査の制度概要①

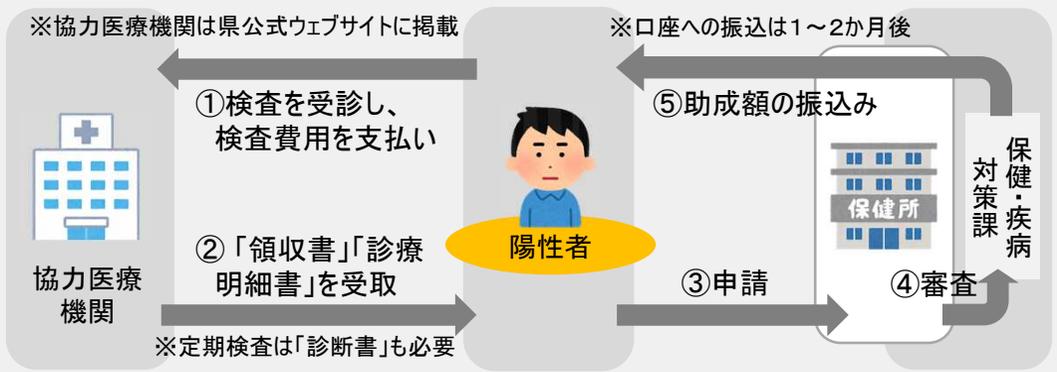
初回精密検査		定期検査			
対象となる方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、秋田市が実施する保健所の肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方</li> <li>○ 県、秋田市が委託した医療機関の肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方</li> <li>○ 市町村健康増進事業の肝炎ウイルス検診で陽性と判定された方 (いずれも判定通知日から1年以内に県に請求した場合)</li> <li>○ 職域、妊婦健診または手術前の肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方</li> </ul>	B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスの感染が原因で次の疾患と診断された方 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 慢性肝炎</li> <li>○ 肝硬変</li> <li>○ 肝がん</li> </ul> (それぞれ治療後の経過観察者を含む)			
対象とならない方	上記以外の肝炎ウイルス検査(献血、自費検査等)で陽性と判定された方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無症候性キャリアと診断された方</li> <li>○ アルコール、NASH等の肝炎ウイルス以外を要因とする肝疾患患者の方</li> <li>○ 肝炎医療費受給者証を有している(治療中の方)</li> <li>○ 市町村民税(所得割)が235,000円以上の世帯の方</li> </ul>			
自己負担・所得要件	なし	階層区分		自己負担限度額(1回につき)	
				慢性肝炎	肝硬変、肝がん
		甲	市町村民税(所得割)課税年額が235,000円未満の世帯の方	2,000円	3,000円
乙	住民税非課税世帯の方	0円			
助成対象項目【共通】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初診料</li> <li>○ ウイルス疾患指導料</li> <li>○ 検査料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 血液形態・機能検査(末梢血液一般検査、末梢血液像)</li> <li>b. 出血・凝固検査(プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間)</li> <li>c. 血液化学検査(総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、ALP、ChE、<math>\gamma</math>-GT、総コレステロール、AST、ALT、LD)</li> <li>d. 腫瘍マーカー(AFP、AFP-L3%、PIVKA-II半定量、PIVKA-II定量)</li> <li>e. 肝炎ウイルス関連検査(HBe抗原、HBe抗体、HCV血清群別判定、HBVジェノタイプ判定)</li> <li>f. 微生物核酸同定・定量検査(HBV核酸定量、HCV核酸定量)</li> <li>g. 超音波検査(断層撮影法(胸腹部))</li> </ul> </li> <li>○ 上記に関連する診療点数 血液採取料(静脈)、血液学的検査判断料、免疫学的検査判断料、微生物学的検査判断料、生物学的検査判断料、検体検査管理加算、外来迅速検体検査加算ほか                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査が複数日にわたった場合(例:血液検査と超音波検査を別の日に実施)、一連の検査として助成対象とすることがある。</li> <li>・ 上記に記載のない検査、点数については、拠点病院専門医に意見を求めた上で助成の可否を判断する。</li> <li>・ 上記の検査を全て実施しなくても差し支えない。(主治医の判断による)</li> <li>・ 保険外点数(診断書発行料等)、治療にかかる点数(処方せん料等)は対象外とする。</li> </ul> </li> </ul>				
助成対象項目【個別】	MRI撮影とCT撮影は助成対象外	慢性肝炎患者	MRI撮影とCT撮影は助成対象外		
		肝硬変、肝がん患者	超音波検査に代えて、MRI撮影又はCT撮影を助成対象とすることができる。(複数実施の場合はいずれか一つのみ)		
9 ※それぞれ治療後の経過観察の患者についても同様に扱う					

# 初回精密検査・定期検査の制度概要②

初回精密検査	定期検査
--------	------

- |   |  |
|---|--|
| <p>助成対象となる肝炎ウイルス検査(前頁)を受け、陽性判定の結果通知を受け取る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県の協力医療機関で初回精密検査を受診し、窓口で請求された金額を支払う。</li> <li>② 医療機関から領収書、診療明細書を受取る。</li> <li>③ 最寄りの保健所(秋田市民は県庁保健・疾病対策課)に必要な書類(陽性結果通知、領収書、診療明細書など)を添えて申請する。<br/>【注】初回精密検査は陽性判定の通知を受けてから1年以内に申請する。</li> <li>④ 審査により助成額を決定する。</li> <li>⑤ 助成額が口座振込により支払われる。(申請から1～2ヶ月後)</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県の協力医療機関で定期検査を受診し、窓口で請求された金額を支払う。</li> <li>② 医療機関から領収書、診療明細書を受取る。</li> <li>③ 最寄りの保健所(秋田市民は県庁保健・疾病対策課)に必要な書類(診断書、領収書、明細書など)を添えて申請する。<br/>【注】申請は検査を受けた日の属する年度内(3月末日)まで<br/>【注】診断書は病態の変更が無い限り、2回目から省略可。また、1年以内に肝炎治療特別促進事業の申請において診断書を提出した場合も省略可</li> <li>④ 審査により助成額を決定する。</li> <li>⑤ 助成額が口座振込により支払われる。(申請から1～2ヶ月後)</li> </ol> |
|---|--|

申請手続きの流れ



- |          |  |
|----------|--|
| 【共通】必要書類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 請求書</li> <li>○ 医療機関の領収書(レシート不可)</li> <li>○ 診療明細書</li> <li>○ 加入医療保険確認書類: 資格情報のお知らせ、資格確認書、マイナポータルからアクセスの資格情報画面</li> <li>○ フォローアップ同意書(未提出の場合のみ)</li> </ul> |
|----------|--|

- |          |   |  |
|----------|---|--|
| 【個別】必要書類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎ウイルス検査の結果通知書(陽性判定が分かるもの)</li> <li>○ 【職域】職域の肝炎ウイルス検査を受けたことの証明(保有している場合)</li> <li>○ 【妊婦健診】母子健康手帳の写し(検査日・検査結果・妊婦の氏名掲載ページ)</li> <li>○ 【手術前検査】ウイルス検査後の手術に関する手術料が記載された診療明細書</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 診断書(県指定の様式に医師が記入したもの)</li> <li>○ 世帯全員が記載されている住民票写し(住民票謄本)</li> <li>○ 世帯全員の市町村民税課税証明書</li> <li>○ 市町村民税額合算対象除外希望申請書及び証明書類(該当者のみ)</li> </ul> |
|----------|---|--|

回数	1人1回限り	1年度につき2回まで ※初回精密検査の助成を受けた場合は1回
----	--------	-----------------------------------

初回精密検査・定期検査費用助成件数

年度	初回精密 ①	陽性と判定されたウイルス検査						定期 ②	合計 ①+②
		市町村検査	医療機関型	出張型検査	職域	手術前検査	妊婦健診		
H26	23							9	32
H27	28							15	43
H28	8							30	38
H29	5							43	48
H30	11							61	72
R1	12	6	2	3	1			74	86
R2	3	1			2			73	76
R3	10	4	5			1		57	67
R4	4	4						55	59
R5	8	5			1	2		64	72
R6	8	3			2	3		53	61
R7※	2					1	1	16	18
計	120	23	7	3	6	7	1	534	654

※R7年度はR7.12.31現在

〈医療機関別〉

※R7年度はR7.12.31現在

医療機関名称	所在地	初回精密検査							定期検査							合計	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7※	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7※		
大館市立総合病院	大館市		1	1				1									4
大館市立扇田病院	大館市	2			1		1					1					5
大湯リハビリ温泉病院	鹿角市								1	1							2
なかの消化器内科クリニック	鹿角市	2															2
あじみね内科	北秋田市														2		2
北秋田市民病院	北秋田市									1	1	2	5	2	1		12
たむら内科クリニック	北秋田市						1									2	3
能代厚生医療センター	能代市							1	1	1	4	1	2	3	2		15
能代山本医師会病院	能代市									2	4	2		3	2	1	14
瀬川医院	能代市	1		1						1	2	2	2	2	2		13
わたなべ内科医院	能代市		1	1						37	24	26	27	33	24	8	181
男鹿みなど市民病院	男鹿市									1	2						3
湖東厚生病院	八郎潟町					1											1
秋田大学医学部附属病院	秋田市	1								4	5	3	4	2	2	1	22
市立秋田総合病院	秋田市	2		1		1	1			14	11	10	10	8	10		68
秋田赤十字病院	秋田市										2	1					3
秋田厚生医療センター	秋田市						1			6	6	2	2	2	2	2	23
くらみつ内科クリニック	秋田市									1	3						4
小川内科医院	秋田市										2	3	2	2	2	1	12
土崎駅前クリニック	秋田市			1													1
いなば内科胃腸科クリニック	秋田市					1											1
山王胃腸科	秋田市					1											1
由利組合総合病院	由利本荘市				1		2			4	3	3					13
本荘第一病院	由利本荘市			2								1					3
大曲厚生医療センター	大仙市				1								1	2			4
佐藤内科クリニック	大仙市	1															1
こにし胃腸科内科	大仙市			1													1
中島内科医院	大仙市					2									1		3
市立田沢湖病院	仙北市						1										
市立横手病院	横手市	1	1	1													3
胃腸科内科高橋クリニック	横手市	1															1
雄勝中央病院	湯沢市	1				1											2
高橋胃腸科クリニック	湯沢市			1		1											2
石岡胃腸科クリニック	湯沢市				1												1
弘前大学医学部附属病院	青森県弘前市									1	1						2
順天堂大学医学部附属 順天堂医院	東京都										2	2	2	2	2		10
計		12	3	10	4	8	8	2	74	73	57	55	64	53	16		438

## 肝炎ウイルス検査結果記録カードについて

### 1 概要

令和4年度・令和5年度の肝疾患対策部会にて B 型・C 型肝炎ウイルス検査記録カードを作成できないかとの声があがり、令和6年度肝疾患対策部会にてデザイン等意見をいただき作成に至った。

配布対象者	肝炎ウイルス検査受検者(無料検査及び保健所検査、市町村の健康増進事業に基づく検査等)
配布範囲	肝疾患診療連携拠点病院、肝疾患専門医療機関、県が委託する肝炎ウイルス検査実施医療機関、保健所、配布を希望する市町村
配布方法	検査実施主体による
作成枚数	10,000 枚

### 2 活用状況等調査

・当カードの活用状況及び、次回の増刷時の参考にすべく活用調査を行った。

#### (1) 調査対象

肝炎無料検査委託医療機関(25/94 回答)、カード配布を希望した11市町村及び8保健所

肝炎ウイルス検査結果記録カード

氏名 \_\_\_\_\_

検査機関名 \_\_\_\_\_

検査項目

HBs抗原 ( + ・ - ) 検査日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

HCV抗体 ( + ・ - ) 検査日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

HCV-RNA ( + ・ - ) 検査日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

※C型肝炎ウイルスは、排除後もHCV抗体は(+)のままです。

○陽性(+)の場合は、専門医療機関の受診を強く勧めます。

○陰性(-)の場合は、検査を受けた日を覚えておきましょう。

自覚症状などがあれば、再度検査を受けましょう。

○このカードは陰性を証明するものではありません。

秋田県

#### (2) 調査結果

①カードを肝炎ウイルス検査受検者にお渡ししていますか？

	渡している	配布枚数	検査実績あるが渡していない	検査実績なし
医療機関	4	191	7	14
市町村	7	376	4	0
保健所	6	20	0	2

②受検者にどのようにこのカードをお渡ししていますか？

	結果を記載の上渡している	カードのみを渡し、結果記入はお任せしている	その他
医療機関	4	0	
市町村	6	5	保健所方式では結果を記載した上で配布、医療機関方式ではカードのみ配布
保健所	6	0	結果と検査機関名は記入するが、氏名については自身で記入していただく形で配布

③①で「検査実績があるが渡していない」と回答した理由

<p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来にカードの在庫がないため</li> <li>・肝炎ウイルス検査結果通知書を渡している</li> <li>・カードが手元に無かった</li> <li>・対象者が少ないため</li> </ul>	<p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽性者がいなかったため</li> <li>・準備が間に合わず、今年度の活用に至らなかった。来年度以降活用を検討中。</li> <li>・今年度はタイミングが合わなかったため、来年度以降は配布予定です。</li> <li>・渡すタイミングがわからなかった。</li> </ul>
---	---

④改善すべき点

<p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細が周知されていない</li> </ul>	<p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面を使用して、検査結果を大きく記入できるようにしてはどうか。</li> </ul>
--	---

⑤その他意見

<p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり活用されていないため、今後はやめた方が良いと思われます。</li> <li>・秋田県の無料検査以外でも使用できればと思いますが、かなり多くなりますし、各施設でそれぞれ運用を考えなければいけないです。他の施設で本カード以外を使用したりしているのか知りたいです。</li> <li>・患者がこのカードを持つ意味が曖昧な印象です。C 型肝炎は既感染と認識できますが、B 型肝炎はこのカードを提示しても再検査になります。</li> <li>活動性の B 型肝炎ではないことはわかりそうですが、陰性の方のみ渡すほうがメリットあるかもしれません。</li> </ul>	<p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「このカードは陰性を～」 「陽性の場合～」を強調しても良いのではないかと。</li> <li>・受検者に渡したカードがどのように保管・活用されているかについては不明。</li> </ul>
---	---

3 今後の取り扱い

- ・既に検査済の方がカードの配布を希望する方がいた場合

(参考)カードをお渡しする際に配布している資料

## 肝炎ウイルス検査記録カードの記載方法

肝炎ウイルス検査の結果を「肝炎ウイルス検査記録カード」に記録して覚えておきましょう

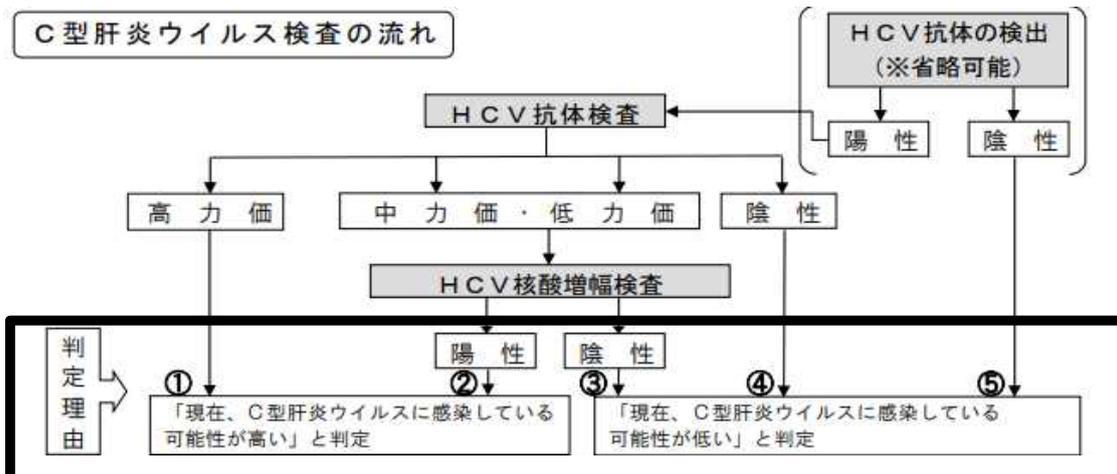
### B型肝炎ウイルス検査 (HBs抗原)

肝炎ウイルス検査結果通知書	→	肝炎ウイルス検査記録カード
陰性の場合	→	HBs抗原 ( + ・ ⊖ )
陽性の場合	→	HBs抗原 ( ⊕ ・ - )

### C型肝炎ウイルス検査 (HCV抗体 ・ HCV-RNA)

肝炎ウイルス検査結果通知書 (判定理由①~⑤)	→	肝炎ウイルス検査記録カード
判定理由が①の場合	→	HCV抗体 ( ⊕ ・ - )
		HCV-RNA ( + ・ - )
②の場合	→	HCV抗体 ( ⊕ ・ - )
		HCV-RNA ( ⊕ ・ - )
③の場合	→	HCV抗体 ( ⊕ ・ - )
		HCV-RNA ( + ・ ⊖ )
④の場合	→	HCV抗体 ( + ・ ⊖ )
		HCV-RNA ( + ・ - )
⑤の場合	→	HCV抗体 ( + ・ ⊖ )
		HCV-RNA ( + ・ - )

※判定理由が①・④・⑤の場合はHCV-RNAが空欄となります。



## 肝炎治療特別促進事業について

県では B 型・C 型のウイルス性肝炎等への抗ウイルス治療(インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、及び核酸アナログ製剤治療)に対し医療費助成を実施している。

### ○近年の秋田県肝炎治療特別促進事業実施要綱の改正等について

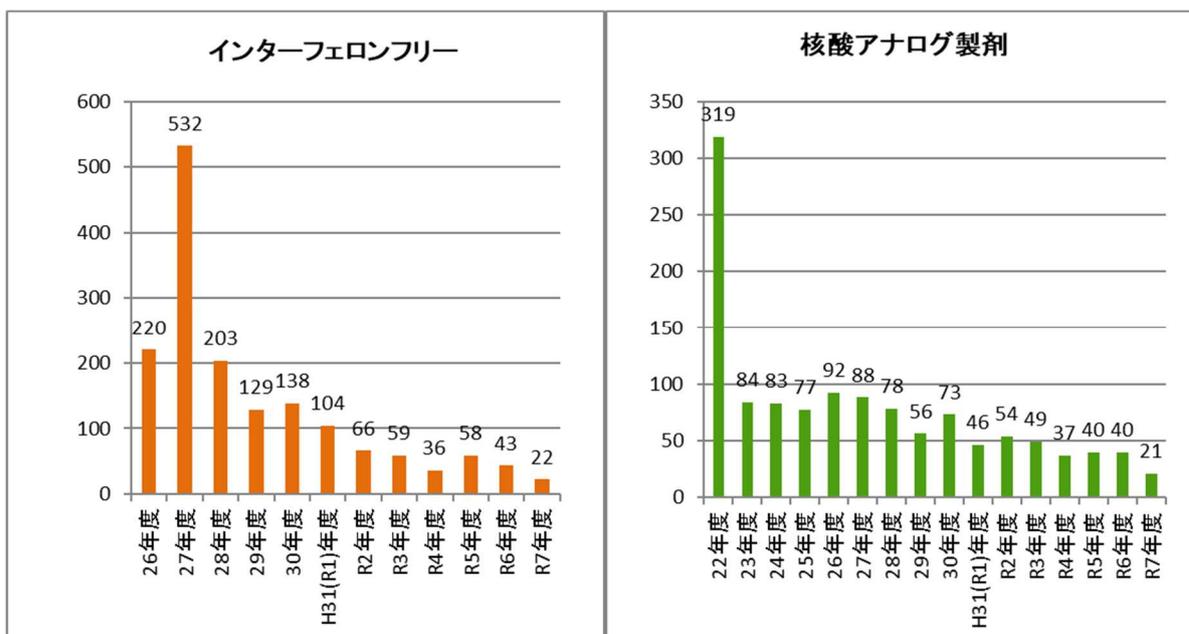
	施行年月日等	主な改正内容
H 3 0 年 度	平成30年4月1日	(1)核酸アナログ製剤治療の更新について B 型肝炎での核酸アナログ製剤による治療について、多くの患者に治療内容に変化がみられないことから毎年度の更新にあたり、診断書(又はそれに代わるもの)の提出は直近の認定以降 2 回目まで省略できるものとし、この場合は認定協議会に意見を求めることを省略できるものとした。 (2)B 型慢性肝疾患に対するインターフェロン治療についてペグインターフェロン製剤による 2 回目の治療も助成対象とする。
R 元 年 度	平成31年4月1日	インターフェロンフリー薬:エプクルーサ配合錠(一般名:ソホスビル/ベルパタスビル配合錠)の薬価収載、保険適用に伴う改正
	令和元年8月22日	(要綱改正なし) インターフェロンフリー薬:マヴィレットの12歳以上の小児への保険適用拡大
R 4 年 度	令和4年8月24日	(要綱改正なし) インターフェロンフリー薬:エプクルーサ配合錠(一般名:ソホスビル/ベルパタスビル配合錠)の前治療歴のない C 型肝炎肝炎感染者又は C 型代償性肝硬変患者への使用が可能に。
R 6 年 度	令和6年10月1日	(要綱改正なし) 長期収載品(バラクルード)の選定療養について、特別の料金を徴収する必要があることとなった。
	令和6年12月2日	申請時必要書類の変更 マイナ保険証の導入により、加入医療保険を確認する書類を変更
R 7 年 度	令和7年12月10日	C 型慢性肝疾患に対するインターフェロンフリー治療の「再治療」に関する助成要件の変更

# 1 肝炎治療特別促進事業の実績

(1) 肝炎治療受給者証交付件数（新規、再治療）

令和7年12月末現在

年度	インターフェロン	インターフェロンフリー	核酸アナログ製剤	合計
H22年度	277	—	319	596
H23年度	163	—	84	247
H24年度	189	—	83	272
H25年度	174	—	77	251
H26年度	85	220	92	397
H27年度	10	532	88	630
H28年度	1	203	78	282
H29年度	0	129	56	185
H30年度	0	138	73	211
H31(R1)年度	0	102	46	148
R2年度	0	66	54	120
R3年度	0	59	49	108
R4年度	0	36	37	73
R5年度	0	58	40	98
R6年度	0	43	40	83
R7年度	0	22	21	43



(2) 保健所別受給者証交付件数(核酸アナログ製剤の更新含む。)

保健所 区域別	H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	件数	割合								
大館	72	8.6%	58	9.7%	66	9.8%	78	10.8%	83	9.0%
北秋田	18	2.1%	21	3.5%	17	2.5%	25	3.5%	27	2.9%
能代	78	9.3%	67	11.2%	65	9.6%	58	8.0%	75	8.1%
秋田中央	112	13.4%	49	8.2%	69	10.2%	83	11.5%	115	12.4%
秋田市	280	33.4%	189	31.7%	222	32.8%	231	32.0%	307	33.2%
由利本荘	97	11.6%	83	13.9%	90	13.3%	84	11.6%	103	11.1%
大仙	71	8.5%	51	8.5%	56	8.3%	60	8.3%	88	9.5%
横手	81	9.7%	53	8.9%	58	8.6%	69	9.5%	73	7.9%
湯沢	29	3.5%	26	4.4%	33	4.9%	35	4.8%	53	5.7%
計	838		597		676		723		924	
更新(再掲)	242		350		404		472		527	

保健所 区域別	H27 年度		H28 年度		H29 年度		H30 年度		H31(R1)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
大館	116	9.5%	94	10.2%	93	10.7%	108	11.7%	110	12.4%
北秋田	31	2.5%	34	3.7%	36	4.1%	43	4.6%	44	5.0%
能代	95	7.8%	63	6.8%	64	7.3%	72	7.8%	69	7.8%
秋田中央	139	11.4%	100	10.9%	90	10.3%	91	9.8%	80	9.0%
秋田市	399	32.8%	307	33.4%	250	28.7%	286	30.8%	263	29.6%
由利本荘	141	11.6%	108	11.7%	104	11.9%	99	10.7%	97	10.9%
大仙	130	10.7%	91	9.9%	100	11.5%	92	9.9%	97	10.9%
横手	102	8.4%	76	8.3%	79	9.1%	85	9.2%	78	8.8%
湯沢	63	5.2%	47	5.1%	55	6.3%	51	5.5%	50	5.6%
計	1,216		920		871		927		888	
更新(再掲)	586		638		686		716		740	

保健所 区域別	R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		合計	
	件数	割合	件数	割合								
大館	10	8.3%	114	13.0%	119	13.9%	116	13.3%	105	12.2%	1,342	11.0%
北秋田	11	9.2%	52	5.9%	49	5.7%	50	5.7%	48	5.6%	506	4.2%
能代	15	12.5%	66	7.5%	65	7.6%	61	7.0%	64	7.4%	977	8.0%
秋田中央	12	10.0%	67	7.7%	71	8.3%	70	8.0%	74	8.6%	1,222	10.0%
秋田市	38	31.7%	255	29.1%	239	28.0%	255	29.2%	254	29.4%	3,775	31.0%
由利本荘	7	5.8%	106	12.1%	102	11.9%	103	11.8%	99	11.5%	1,423	11.7%
大仙	9	7.5%	82	9.4%	84	9.8%	91	10.4%	85	9.8%	1,187	9.8%
横手	7	5.8%	76	8.7%	73	8.6%	78	8.9%	76	8.8%	1,064	8.7%
湯沢	11	9.2%	57	6.5%	52	6.1%	48	5.5%	58	6.7%	668	5.5%
計	120		875		854		872		863		12,164	
更新(再掲)	-		767		781		774		780			

## (3) 交付内訳

令和7年12月末現在

年度	計	インターフェロン				インターフェロンフリー		核酸アナログ	
		B型	C型	2回目(再掲)	3剤(再掲)	新規	再治療	新規	更新
H22	838	2	275	28	—	—	—	319	242
H23	597	7	156	11	49	—	—	84	350
H24	676	7	182	9	87	—	—	83	404
H25	723	8	166	5	115	—	—	77	472
H26	924	4	81	0	40	220	—	92	527
H27	1,216	1	9	0	2	532	—	88	586
H28	920	1	0	0	0	193	10	78	638
H29	871	0	0	0	0	106	23	56	686
H30	927	0	0	0	0	116	22	73	716
H31(R1)	888	0	0	0	0	96	6	46	740
R2	120	0	0	0	0	64	2	54	—
R3	875	0	0	0	0	59	0	49	767
R4	854	0	0	0	0	35	1	37	781
R5	872	0	0	0	0	58	0	40	774
R6	863	0	0	0	0	42	1	40	780
R7	836	0	0	0	0	22	0	21	793
累計	13,000	30	869	53	293	1,543	65	1,237	9,256

※R2年度の更新は、新型コロナウイルス感染症の影響により、更新作業を行わず有効期間を1年間延長

## (4) 指定医療機関等の状況

令和7年12月末現在

所在地	無料ウイルス検査	検査費用助成	診断書発行	治療
大館市・鹿角市・鹿角郡	9	7	5	4
北秋田市・北秋田郡	6	5	5	6
能代市・山本郡	9	8	15	15
男鹿市・潟上市・南秋田郡	10	9	14	15
秋田市	22	35	33	51
由利本荘市・にかほ市	3	8	9	10
大仙市・仙北市・仙北郡	8	15	20	21
横手市	17	12	10	15
湯沢市・雄勝郡	11	9	6	7
全県	95	108	117	144

# 医療費助成のオンライン資格確認について

## 1 概要

国の進めるマイナンバーカードを活用した医療費助成の効率化を目指し、国が構築した情報連携基盤(Public Medical Hub)と以下の医療費助成制度について連携を行う。

## 2 導入によるメリット

県 民：紙の受給者証の持参の手間が減少し、紛失リスクや持参忘れ、再来院の防止

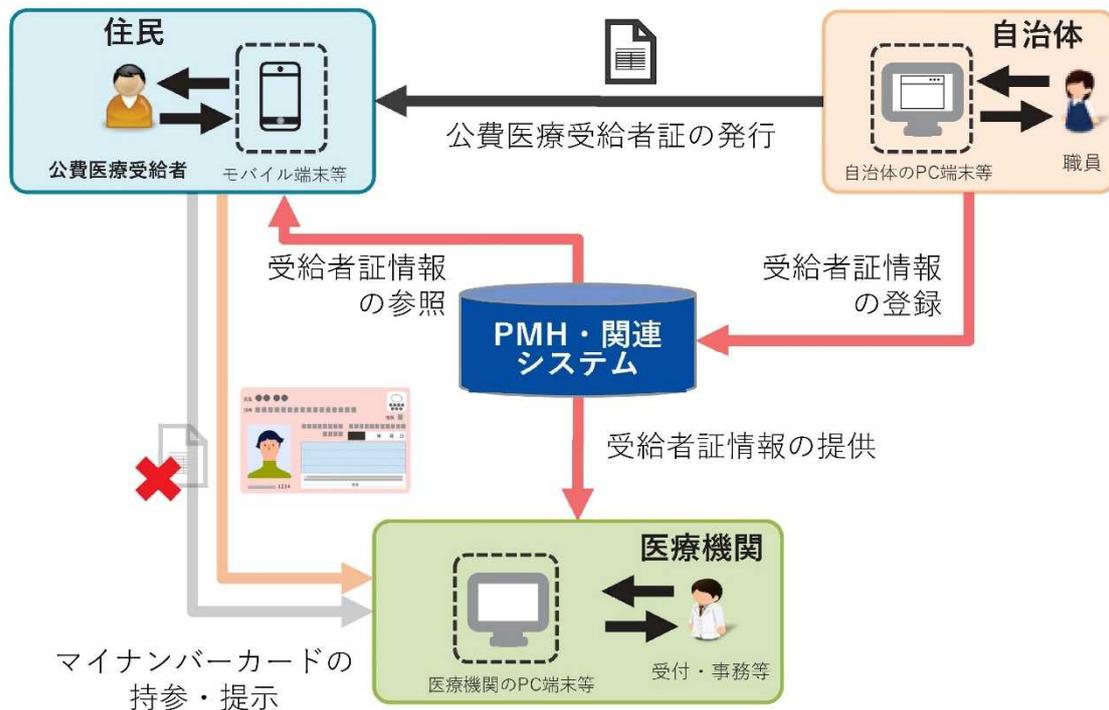
自治体：正確な情報に基づき医療機関等からの請求が行われる

医療機関：受給者証情報の手動入力負荷を削減

最新の医療費助成受給資格を確認可能

医療費助成資格の確認事務コストの削減

## 3 PMH 導入後の医療費助成業務全体像



## 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

県では B 型・C 型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者に対し医療助成を実施している。

### 1 制度の概要

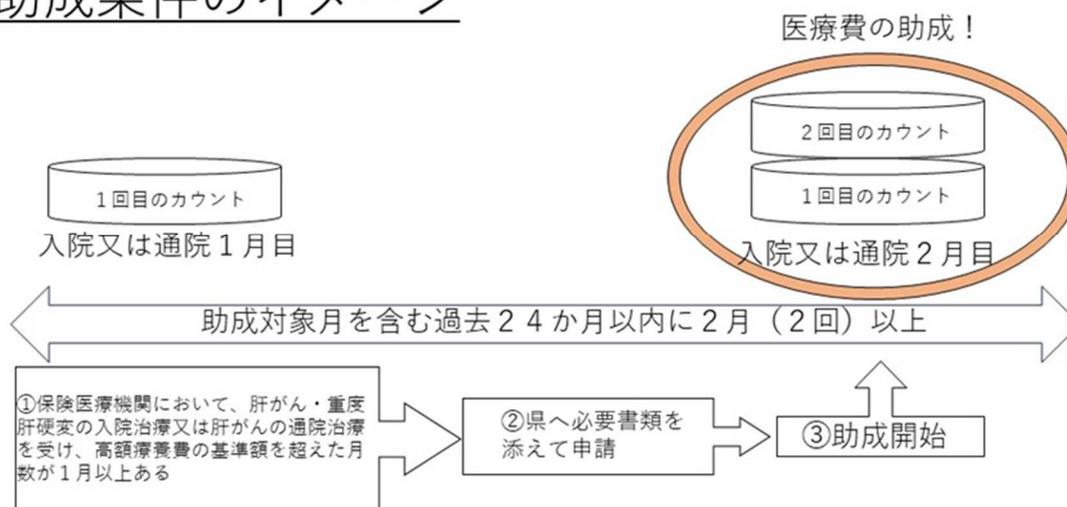
- (1)肝がん・重度肝硬変の入院医療又は肝がんの※通院医療が対象  
 ※通院医療…「分子標的薬を用いた化学療法」「肝動脈注化学療法」「粒子線治療」
- (2)所得制限あり(年収約370万円以下が対象)
- (3)公費による助成対象となるのは、対象医療2月目以降であって、高額療養費制度を適用した後の自己負担額(対象医療で過去24月で高額療養費の限度額を超えた月が既に1月以上ある場合に、対象医療2月目以降に高額療養費の限度額を超えた月に係る医療費に対し、公費負担を行う。)
- (4)患者の自己負担額が月額1万円となるよう高額療養費の限度額と1万円との差額を公費で助成  
 ※入院の場合…窓口で自己負担額が1万円  
 ※通院の場合…償還払いで自己負担額が1万円

### 2 近年の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施要綱の改正等について

	施行年月日等	主な改正内容
令和 3 年度	令和3年4月1日	○通院医療の対象化 「分子標的薬を用いた化学療法」又は「肝動注化学療法」による通院医療を助成対象に追加する。 ○対象月数の短縮 本事業の対象医療について、高額療養費の限度額を超えた入院又は通院に係る3月目以降の患者の自己負担額が1万円となるよう、公費助成を行う。
令和 4 年度	令和4年4月1日  令和4年10月1日	○対象医療の拡充 切除不可能な大型の幹細胞癌等に対する陽子線治療・重粒子治療 ○後期高齢者医療における窓口負担割合の見直し 75歳以上の方等で一定の所得がある方は、医療費の窓口負担割合が2割となる
令和 5 年度	令和5年4月1日	○対象医療の拡充 肝がん通院医療の対象に「粒子線治療」が追加

令和 6 年度	令和6年4月1日	○申請要件の緩和 月数のカウント範囲の拡大及び、助成開始月数の短縮
	令和6年12月2日	○申請時必要書類の変更 マイナ保険証の導入により、加入医療保険を確認する書類を変更

## 助成条件のイメージ



### 3 秋田県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業への参加実績

	参加者証交付件数 (更新含む)	医療費助成回数
平成30年度	1件	0件
平成31(令和元)年度	3件	9件
令和2年度	1件	7件
令和3年度	1件	3件
令和4年度	6件	4件
令和5年度	3件	13件
令和6年度	6件	20件
令和7年度(R7.12月末現在)	6件	10件

#### 4 秋田県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関一覧

	医療機関名	所在地	指定年月日
1	市立横手病院	横手市根岸町5番31号	平成30年12月1日
2	能代山本医師会病院	能代市檜山字新田沢105番地の11	平成30年12月1日
3	大曲厚生医療センター	大仙市大曲通町8番65号	平成30年12月1日
4	市立大森病院	横手市大森字菅生田245番地205	平成30年12月1日
5	秋田大学医学部附属病院	秋田市広面字蓮沼44番2	平成30年12月1日
6	中通総合病院	秋田市南通みその町3番15号	平成30年12月1日
7	能代厚生医療センター	能代市落合字上前田地内	平成30年12月1日
8	市立秋田総合病院	秋田市川元松丘町4番30号	平成30年12月1日
9	平鹿総合病院	横手市前郷字ハツ口3番1	平成30年12月1日
10	かづの厚生病院	鹿角市花輪字向畑十八番地	平成30年12月1日
11	由利組合総合病院	由利本荘市川口字家後38	平成30年12月1日
12	大館市立総合病院	大館市豊町3番1号	平成30年12月1日
13	男鹿みなと市民病院	男鹿市船川港船川字海岸通り1号8番地6	平成31年1月1日
14	秋田厚生医療センター	秋田市飯島西袋一丁目1番1号	令和1年6月1日

# 秋田県専用 B型・C型肝炎ウイルス陽性者 診療情報提供書活用状況調査

東北アルフレッサ株式会社 秋田県

## 背景／目的

### ○背景

・R6年度から肝炎医療Coの対象にMSを加えたところ、東北アルフレッサ株式会社から秋田県の肝炎対策への協力の申し出があった。

・秋田県専用 B型・C型肝炎ウイルス陽性者 診療情報提供書（以下、県専用 診療情報提供書）の活用状況について

→医薬品販売業の強みを活かした紹介元の医療機関への調査  
（R5年度には肝疾患専門医療機関への調査を実施）

### ○目的

- ・医療機関における現状（認知度・活用状況等）の明確化
- ・県専用 診療情報提供書の周知

# アンケート用紙

## ◆◆◆ 秋田県の肝炎撲滅に向けたアンケート協力をお願い ◆◆◆

1. 秋田県専用 B型・C型肝炎ウイルス陽性者 診療情報提供書をご存じですか？ 知っている ・ 知らない
2. 秋田県専用 診療情報提供書を活用したことがありますか？ ある ・ ない
3. 日常診療でHBs抗原検査・HCV抗体検査を実施することはありますか？  
どちらもある ・ HBsのみある ・ HCVのみある ・ どちらもない
4. B型・C型肝炎の疑いがある患者さんが（※治療中・治療済み除く）いらっしゃいますか？  
（B型肝炎） いる ・ いない （C型肝炎） いる ・ いない
5. 患者さんがいた場合、紹介先を決めていますか？  
決めている（施設名： \_\_\_\_\_） ・ 決めていない

医療機関名： \_\_\_\_\_

ご署名： \_\_\_\_\_

※本アンケートにご記入いただきました内容は上記アンケートの目的・目的を契機として集約させていただきます。  
※本アンケートにご記入いただきました内容は東北アルフレッサにて厳密に管理し、上記アンケートの目的・目的を契機とするために必要な医療関係者に共有させていただきます。

東北アルフレッサ株式会社 ・ 秋田県 日付 / 担当教員

東北アルフレッサは2022年6月、秋田県がん対策推進企業等連携協定を締結しております。

今回、秋田県の肝炎撲滅に向けた取り組みを進めるにあたり、

県専用のB型・C型肝炎ウイルス陽性者 診療情報提供書の周知とともに、

現状を明確化すべくアンケート調査を実施することと致しました。

今回のアンケート調査は専門の診療科のみならず、幅広い診療科の先生方をお願いしております。

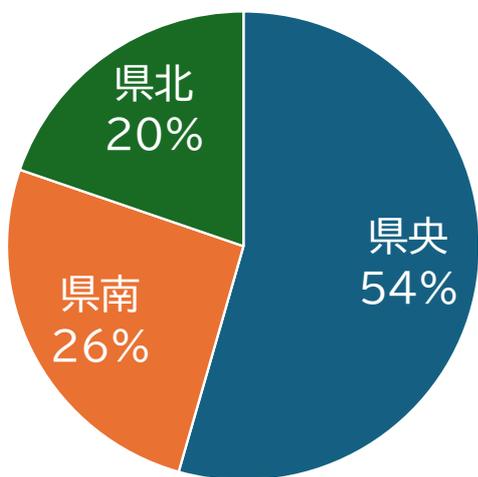
趣旨をご理解の上、ご協力いただきたく、よろしくお願い致します。



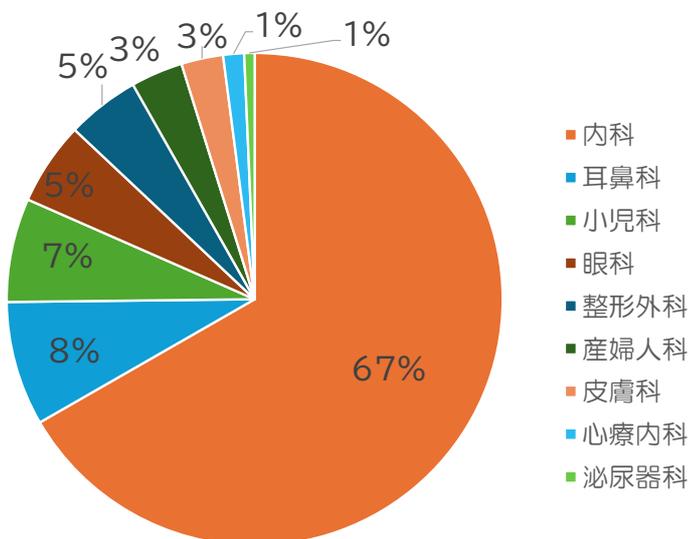
東北アルフレッサ株式会社 ・ 秋田県

## 調査対象内訳(N=147)

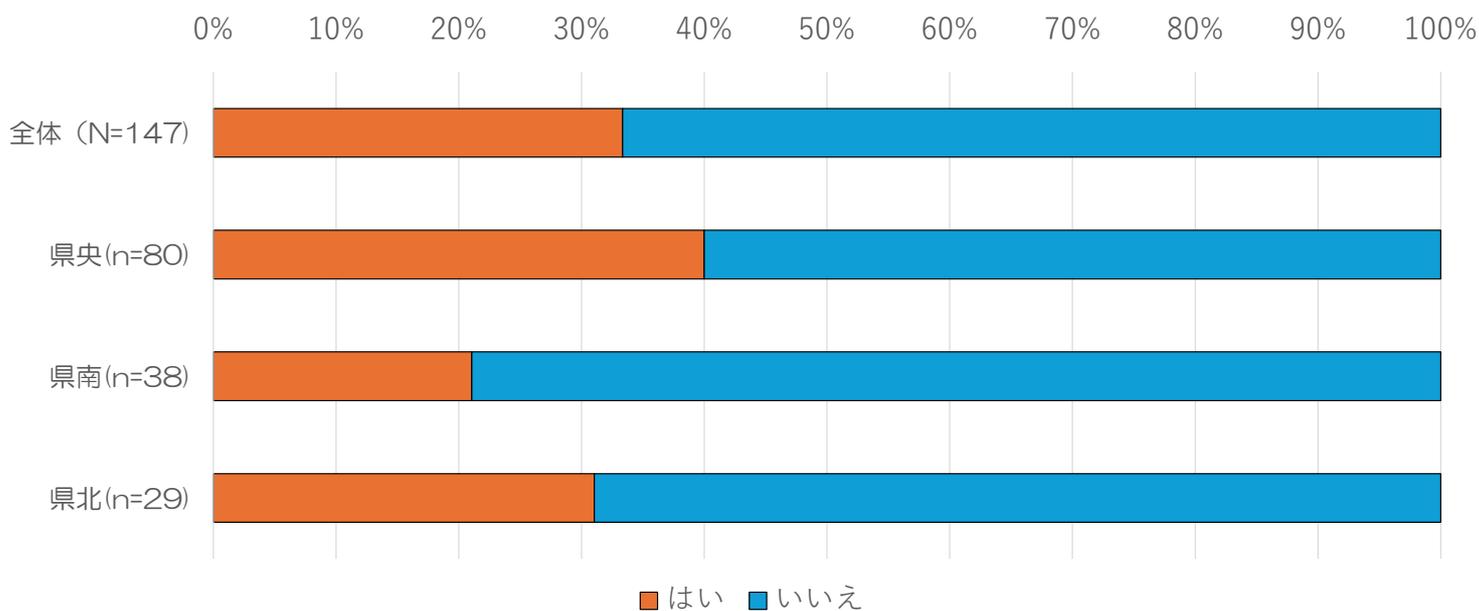
### 二次医療圏別内訳



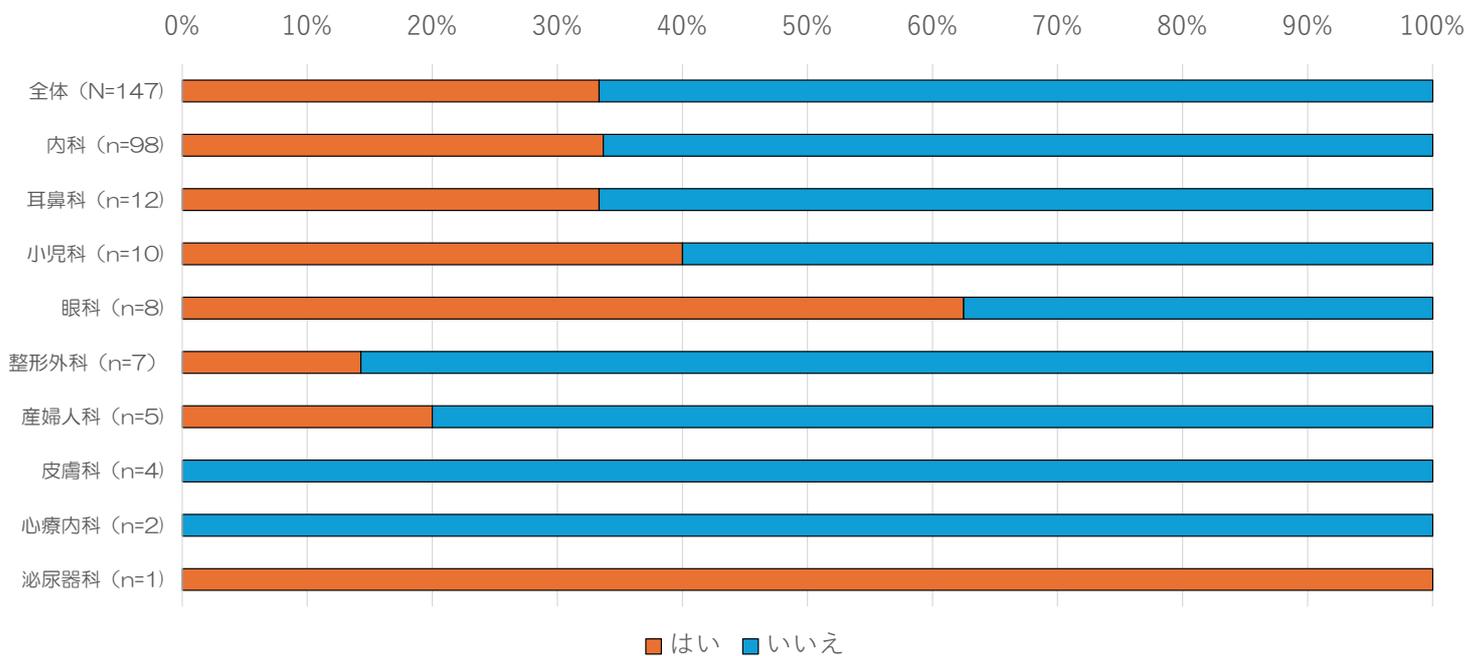
### 診療科別内訳



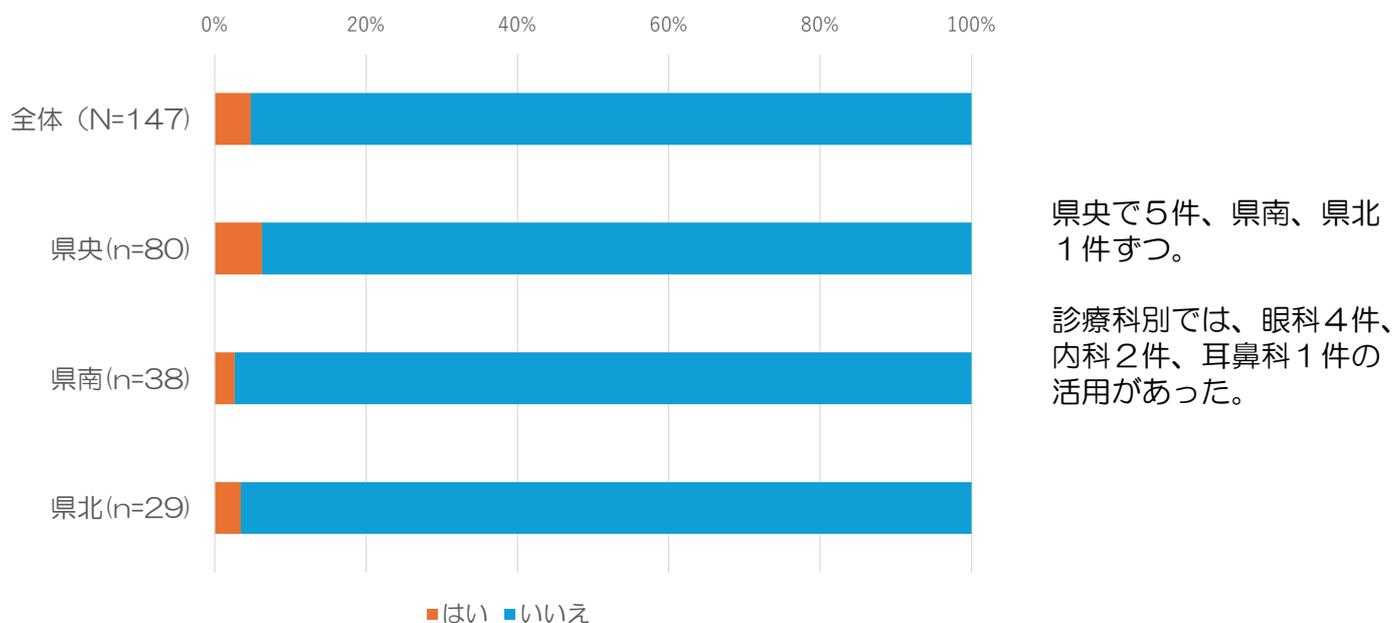
# 1. 県専用 診療情報提供書をご存じですか？



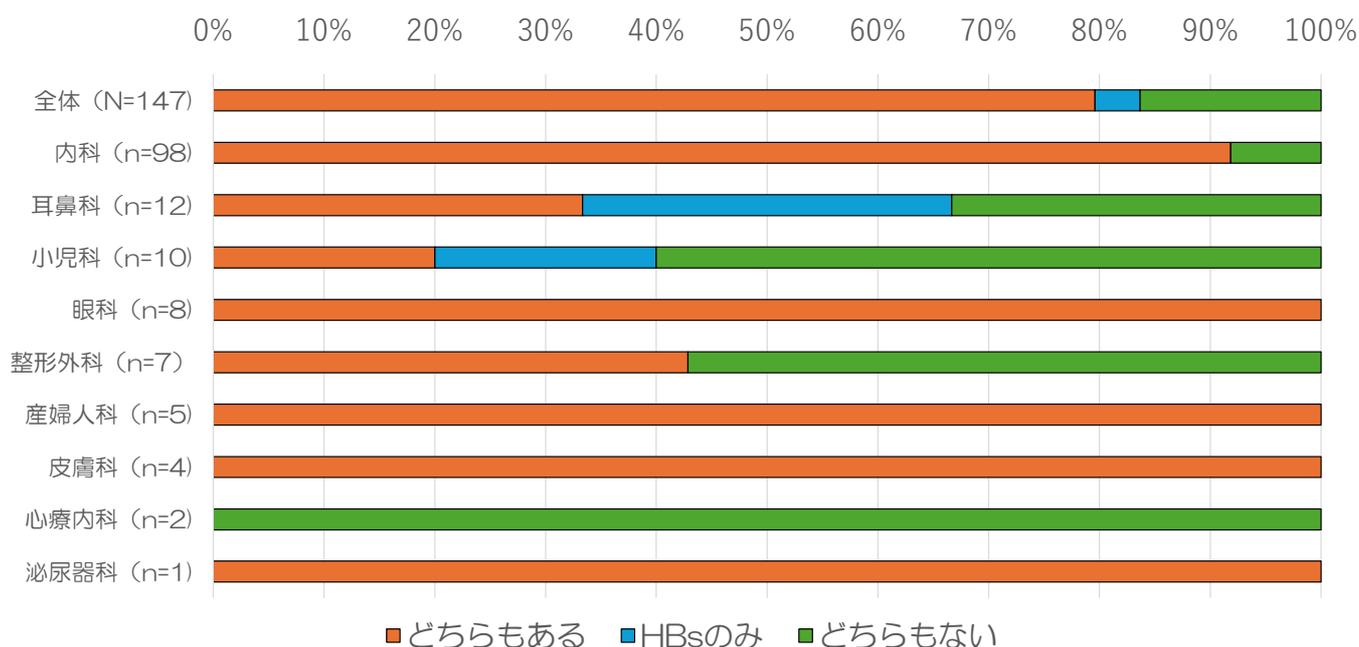
# 1. 県専用 診療情報提供書をご存じですか？



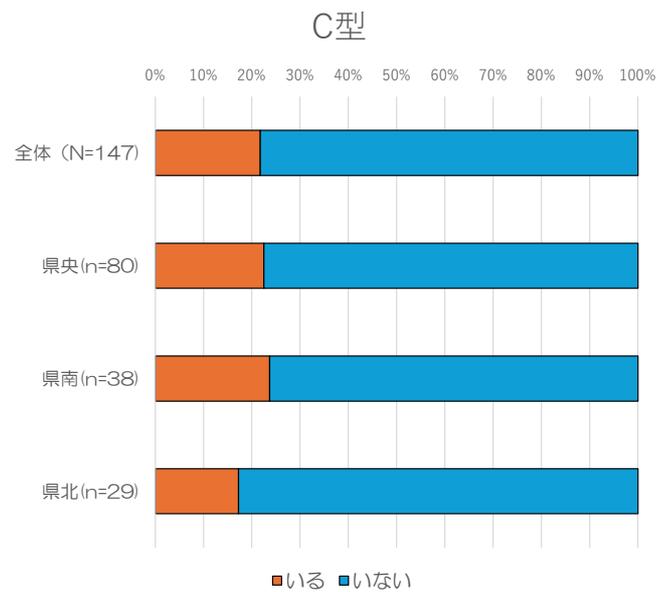
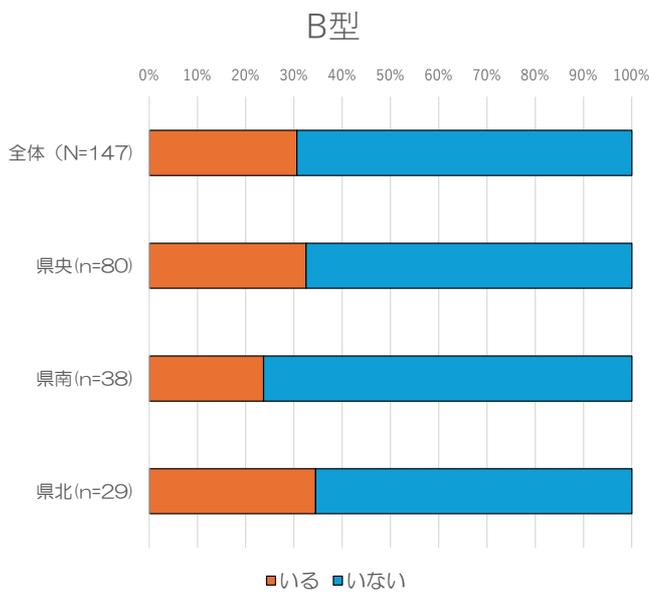
## 2. 県専用 診療情報提供書を活用したことがありますか？



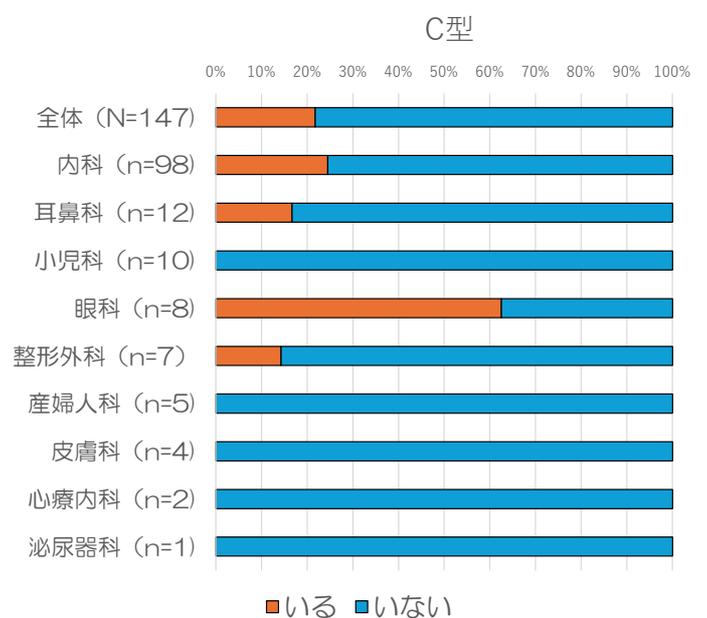
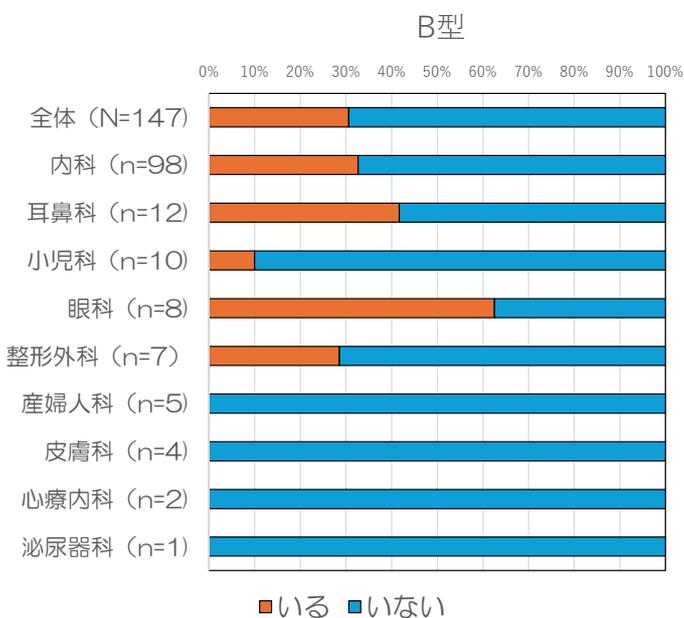
## 3. 日常診療でHBs抗原検査・HCV抗体検査を実施することはありますか？



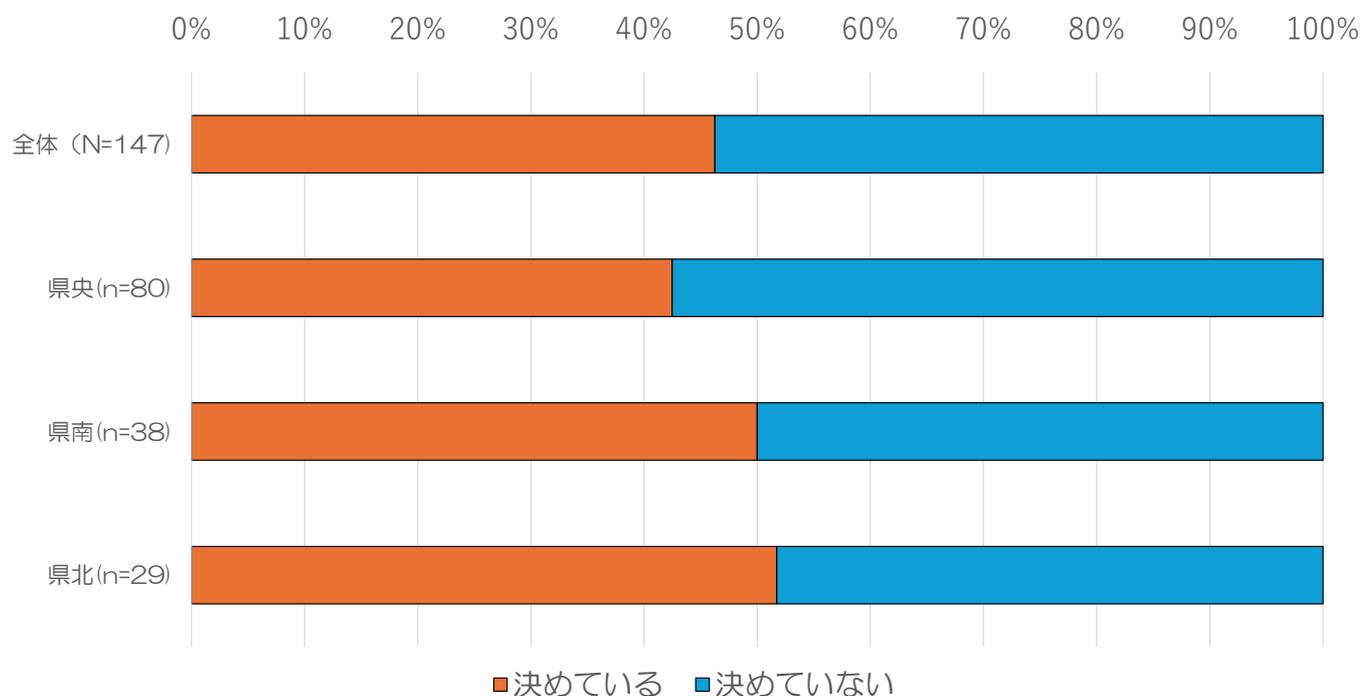
## 4. B型・C型肝炎の疑いがある患者さんが(※治療中・治療済み除く)いらっしゃいますか？



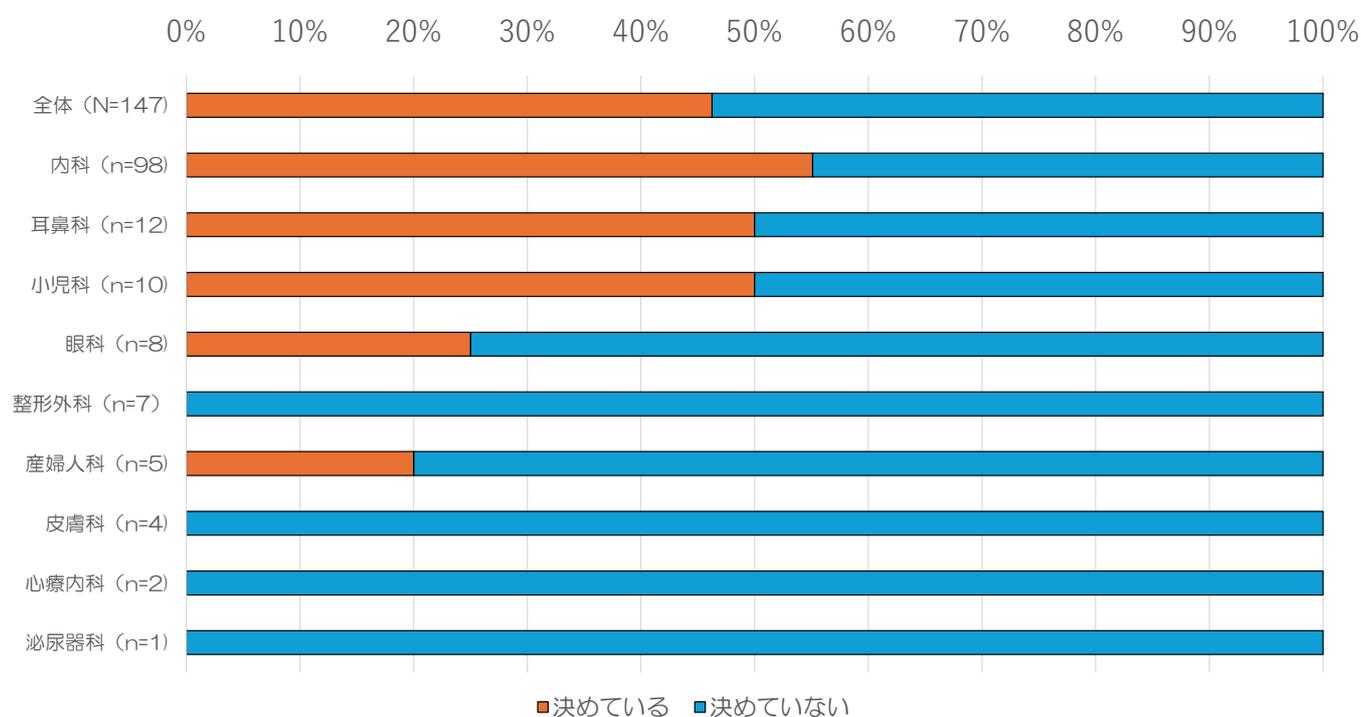
## 4. B型・C型肝炎の疑いがある患者さんが(※治療中・治療済み除く)いらっしゃいますか？



## 5. 患者さんがいた場合、紹介先を決めていますか？



## 5. 患者さんがいた場合、紹介先を決めていますか？



# 調査結果まとめ

- 行政の通知のみでは周知に限界。
- MS、MR等による医療機関への直接の働きかけが効果的。
- 眼科における認知度活用状況が他科に比べ高い。  
→様々な場面を通じた肝炎対策の周知が重要。

## 秋田県肝炎医療コーディネーターについて

## 1 現状

県では肝疾患の基本的な知識を学び、地域や職域における肝炎への理解の浸透、肝炎患者やその家族からの相談に対する助言、肝炎相談・支援センターや行政などの相談窓口の案内、肝炎ウイルス検査の受検の勧奨、陽性判定者に対する精密検査の受診の勧奨、医療費助成制度の説明、治療終了者に対する定期検査の受診の勧奨等を適切に行うことができる「肝炎医療コーディネーター」を養成している。

## 2 令和7年度肝炎医療コーディネーター養成研修会

【日 時】令和7年12月18日（木）午後2時～午後5時20分

【開催方法】オンライン（県庁から配信）

【受講者】全講義終了確認者77名：87名申込（対象に歯科領域を試験的に追加）

【内 容】患者の体験談・患者会の活動紹介／秋田県の肝炎対策／C型肝炎の概要と治療／B型肝炎の概要と治療／B型肝炎訴訟について

## 3 実績

## ○講習受講者数

年 度	受講者数
平成25年度	17人
平成26年度	52人
平成27年度	38人
平成28年度	59人
平成29年度	55人
平成30年度	52人
令和元年度	47人
令和3年度	48人
令和4年度	28人
令和5年度	35人
令和6年度	59人
令和7年度	77人
計（延べ数）	567人

※実人数507人

## ○所属区分別養成者数

所属区分	受講者数
医療機関	213人
市町村	131人
県保健所	62人
薬局	37人
医療保険者	12人
患者会	7人
検診機関	3人
県庁	1人
医薬品販売業	39人
福祉施設	2人
計（実人数）	507人

## ○資格別養成者数(医療機関)

資格	受講者数
医師	5人
歯科医師	2人
看護師・准看護師	75人
薬剤師	20人
臨床検査技師	42人
医療ソーシャルワーカー	11人
社会福祉士	6人
精神保健福祉士	3人
管理栄養士・栄養士	7人
ケースワーカー	3人
保健師	7人
診療情報管理士	1人
事務・その他	31人
計（実人数）	213人

（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により養成研修会を中止）

- ・令和6年度から養成対象とした医薬品販売業（R6：18人、R7：21人）
- ・令和7年度から養成対象とした歯科領域 2人

#### 4 肝炎医療コーディネータースキルアップ研修

市立秋田総合病院において、一般財団法人日本肝臓学会から委託を受け、各施設で在籍している肝炎医療コーディネーター養成講座を受講した方を対象に、最新の肝臓病治療や継続的な技能向上などを目的に実施

日時：令和7年10月11日（土）午後2時から午後4時

場所：市立秋田総合病院 5階 講堂 ハイブリット講演（Zoomによるオンライン）

内容：「秋田県の肝炎対策」 秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課 小川 匡

- ・ 特別講演「ウイルス肝炎の最新治療について」

秋田大学大学院 医学部肝疾患センター 特任講師 佐藤 亘

- ・ 「C型肝炎と薬物問題」 秋田至仁会 薬物専門員 精神保健福祉士 米内 満政
- ・ 「肝炎対策における大仙市の取組み」 大仙市健康増進センター 保健師 佐原孝誠
- ・ 「秋田県の肝炎撲滅に向けて東北アルフレッサだから出来ること」

東北アルフレッサ株式会社 秋田支店 阿部 正明

#### 5 その他

##### （1）肝炎医療コーディネーターの周知等

- ・ 県民が肝炎医療コーディネーターに相談がしやすいよう、また、所属機関・団体等で肝炎医療コーディネーターの存在や役割について理解促進を図ることを目的に、肝炎医療コーディネーターのバッジを作成し、養成講座修了者に修了証と共に送付する（希望者）。
- ・ 肝炎医療コーディネーターが在籍している医療機関・団体等を県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」に掲載する。（掲載に同意した機関・団体のみ）

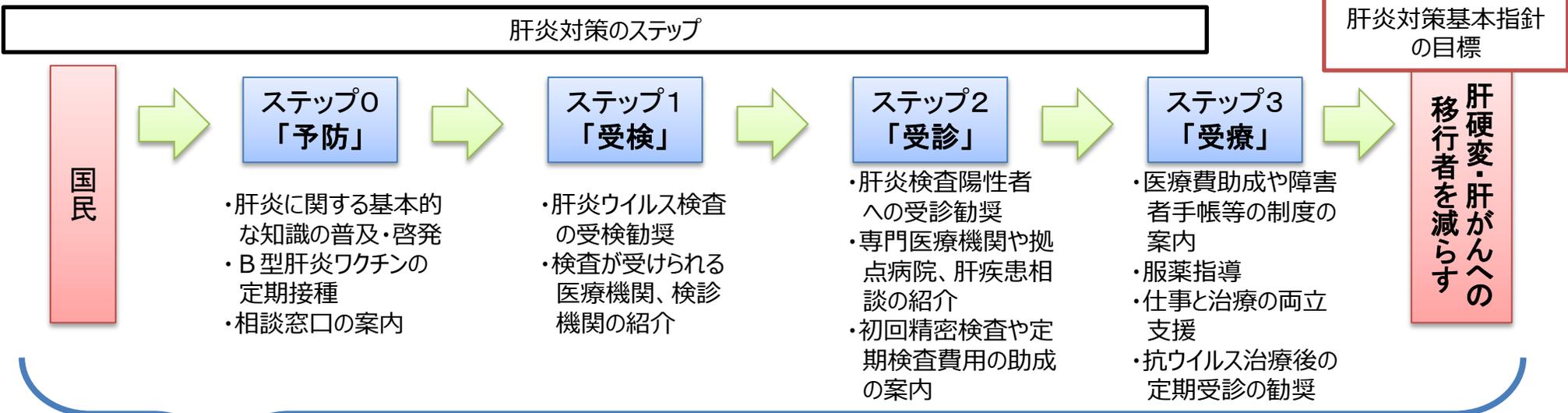


肝炎医療コーディネーター  
バッジ

##### （2）肝炎医療コーディネーターの活動実態把握等

- ・ 1年に1回、肝炎医療コーディネーターの在籍状況について、所属機関・団体等を通じて確認する。
- ・ 在籍中のコーディネーターから、1年間の取組内容等について報告を受ける。
- ・ コーディネーターのスキルアップを図るため、県以外が開催する肝疾患に関する研修会等について情報提供する。（メール送信に同意したコーディネーターのみ）

# 肝炎医療コーディネーターについての考え方の概要



1人で全ての役割を担うのではなく、様々な領域のコーディネーターがそれぞれの強みを活かして患者（国民）をみんなでサポートし、肝炎医療が適切に促進される様に調整（コーディネート）する

## 肝炎医療コーディネーター

保健師



患者会  
自治会等



自治体職員



職場関係者



看護師



医師



薬剤師



身近な地域や職域、あるいは病院等に配置され、それぞれが所属する領域に応じて必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行う。他の肝炎医療コーディネーターとも協力・連携することで、肝炎の「予防」、「受検」、「受診」、「受療」と「フォローアップ」が促進されることが期待される。

さらに、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成されることにより肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待される。

平成29年4月25日付け健発0425第4号厚生労働省健康局長通知「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について（通知）」